様式第４号（規格Ａ４）（第１章１－１－２４関係）

工事事故（速報・経過・確定）報告書

 　　　　　　　　　　　年　　　月　　　日

 　監　督　員　あて

 　　　　　　　 　　　　　　　 　　　　　現場代理人氏名

 　　　　　　　　 印

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  事 故 内 容 | 事 業 名 | 年度 事　　業 |
| 事業場所 |  市郡 町村　大字　　　　　（　　　　　　）地　内 |
| 事故の種類 |  |
| 発生年月日 |  　　　　年　　月　　日　午前 午後　　　時 　　分ごろ　天候（　　）  |
| 発生場所 |  |
| 当　事　者 | 住　　所 | 氏　　　名 | 性別 | 職業 | 年齢 | 被 害 の 程 度 |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
| 受　注　者 |  |
| 警察署 | 届、通報年月日 |  |
| 　検　　　証　取　調　等　の　内　容 |  |
| 監督署 | 届、通報年月日 |  |
| 　検　　　証　取　調　等　の　内　容 |  |
| 事　　故概　　要 |  |
| 事故発生後、現在までに執った措置 |  |
| 事故発生の原因 |  |
| 再発防止対策 |   |
| 添　付　書　類 |  位置図、平面図、横断図、側面図、写真、見積書、請求書（写）等 |

注

１．事故の経過は時間の経過の順に従って始めから終わりまでを報告すること

　この場合において時刻が判明しないが、これを推定できるものは推定時刻として報告すること。

２．事故の状況は可能な限り図で示し、必要に応じ位置図・平面図・放談図・側面図等を作成し距離・高低値・傾斜度等を図示すること。

３．事故現場、事故物件等事故の状況を確認できるものについては、可能な限り写真等によって記録すること。

４．事故の当事者については、その住所、氏名、年齢、職業、生年月日等、可能な限り詳細に報告すること。

５．本票に記載しきれない場合は別紙とし、関係書類とともに本票に添付する。